

3000人をDX人材に

三井住友リース 新規事業を底上げ

リース会社がデジタル
人材の育成を強化する。
三井住友ファイナンス&
ルトランスフォーメーシ

リースは2030年度ま
ヨシ（DX）人材に育て
る。国内でリース需要が
伸び悩むなか、ビジネス
モデルの変革を迫られて
いる。業務の効率化を高
めながら新規事業などの
底上げにつなげる。
三井住友リースはまず
25年度までに約3000
人（単体の役員や出向
者）のうち500人をD
X人材に育てる。レベル
ごとに3段階に分けた社
内の認証制度をつくり、
基準を満たした社員を役
員が直接認定する。認定
にはIT（情報技術）の
国家資格であるITパス
ポートなどの取得、実践
的な研修に加え、業務上
のデジタルスキルの活用
実績を踏まえる。
営業職はデジタル製品
の外販の研修、技術職に
ついてはアプリの開発など
職種別に学ぶ内容を変
える。自社で開発した企
業向けの棚卸し管理シス
テムの外販などを強化す
る。全社の人材育成費用
を25年度に22年度比で3
倍の6億円に増やす。

許諾番号30095896日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。

掲載日 2023年10月25日 日本経済新聞 朝刊 009ページ ©日本経済新聞社 無断複製転載を禁止します。